

## 令和 4年度 事業報告書

設置者	学校法人志田学園				
幼稚園名	認定こども園鈴川幼稚園				
理事長	志田 直正	園長	菊池 和彦		
所在地	静岡県富士市鈴川東町 16 番 17 号				
定員数 (利用定員)	90名 (80名)	認可クラス	年少	年中	年長
		学年定員数	1	1	1
			30名 (30名)	30名 (25名)	30名 (25名)

学級名	3歳児(満3歳児)			4歳児			5歳児			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
ばら	5	8	13							13
もも				8	9	17				17
せんだん (ゆり)							8	13	21	21
	5	1	6							6
合計	14	10	24	7	13	20	8	12	20	57
	男	女	学年計	男	女	学年計	男	女	学年計	園児数合計

(令和 5年3月)

卒園児数(令和 4年度)	
男	8
女	13
合計	21

教員数		職員数	
園長	1	事務員	1
教頭(副園長)	1	事務員	1
保育教諭	9	用務員	
助教諭		調理員	2
養護教諭		運転手	1
講師		警備員	
その他	2	その他(年少組補助)	
合計	13	合計	5

建物面積	567 m <sup>2</sup>
土地面積	1,977 m <sup>2</sup>

## 令和 4 年度 事 業 報 告

事業方針	事業の推進	<p>平成27年度から認定こども園（幼稚園型）に移行し、子ども子育て支援新制度に則り、建学の精神に基づく教育方針を根幹として、合わせての保育事業も軌道に乗り、両部門の適切な遂行を図るとともに、管理部門・教育部門との連携を密に保ちつつ、園の健全な運営を推進できた。</p> <p>なお、前年度と同様に緊急災害時、特に、新型コロナウイルス禍予防対策などに対する適切な対応等、安全面に主眼を置いて、施設環境の点検と整備に努め、避難訓練等、安全教育の徹底を図った。</p>	
	決算概要の説明	<p>本年度本園の教育研究上の目的を根幹として、収支ベースに留意、関連事業の遂行・達成を図った。特に、本園の教育・研究目的及び幼稚・保育教育の安全・安心な事業執行の為、人件費の安定的確保及び経常経費の適正化に配慮した。なお、国からのこれまでの職員処遇改善費や特別事業費交付金などの配慮も事業執行に有益であった。</p>	
	具体項目	内 容	
1	教育内容	<p>各学年の『ねらい』を全職員が共通理解し、3カ年の保育課程を見通し、園児一人ひとりの成長に即した指導・援助を行うことによって、教育・保育目標の達成をめざした。</p>	<p>各学年の「ねらい」を教職員が常に明確に把握し、子どもたち・保護者への援助と指導を行った。</p> <p>園児一人ひとりの成長・発達の実態を教職員全体が把握することに努め、それぞれの園児に応じた教育・保育援助をすることができた。</p>
2	研究内容	<p>園内で子どもたちと共に収穫する作物を食材とし、「食育」の観点から子どもの成長・発達を考察した。</p>	<p>「自然体験と食育」をテーマに研究してきた。その成果をもとにし引き続き「食」をめぐって、園児が食材の収穫と自然体験を実践し、さらに、園児自らによる給食の体験学習について考察することができた。</p> <p>また、園児の家庭における「食」の実態を把握すると共に園と家庭の連携を図り、これらの取り組みの過程を総合して、園児の「食育」として取りまとめた。</p>
3	地域連携	<p>年度当初より、新型コロナウイルス禍による社会活動の抑制により従来企画された一連の行</p>	<p>具体的には、園内における園児中心の行動が主体となり、密になる集会的行事はセーブする中で、未就園児の会、災害避難訓練などは実施できた。</p>

		事は、縮小され得る範囲内の連携活動となった。	(別紙年間計画書参考)
4	施設設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な教育環境の整備</li> <li>安全性の確保整備・改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本園の恵まれた豊かな自然環境を園児の重要な教育・保育環境とし、その活用を図った。</li> <li>年間を通して、園庭の美化に努めるとともに、園庭の一角にある畑を園児とともに作物を育て収穫した。</li> <li>設立から経年が経ち、園舎内の安全性を確保するため、諸施設及び遊具の安全性に常時細心の注意を払い、定期的な点検と整備に努めてきた。 具体的には、施設に関しては、園庭の高木の剪定作業、鉄製遊具の溶接・塗装工事等、園児の安全の確保に留意した。さらに、新型コロナ対策として、空気清浄機、各種衛生製品の確保、業務用掃除機などを購入し、衛生面での安全安心を確保した。</li> </ul>
5	管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理・運営体制の整備</li> <li>管理と教育の適切な運営（自己点検・評価活動への取組み）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の目的達成に向けて、管理運営が園の教育に効果的に反映できるよう、常に園と設置者との職員会議・連絡会議をとおして綿密な連携を図り、その推進に努めた。</li> <li>自己点検・学校関係者を実施して、結果をホームページで公表し、点検と評価の結果を慎重に検討して、教育・保育環境の改善と教育・保育内容の充実に努めた。</li> </ul>
6	財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務基盤の安定化</li> <li>適切な会計処理</li> <li>財務情報の公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園保育園の新制度認定こども園に移行し、園児の増員、対応する教職員の増員等厳しい状況であるが、施設型給付金を受給し基盤の安定化が図られ、よって、園の教育・保育活動の質的な充実と向上、及び、施設・教育環境の整備と充実に努めた。</li> <li>経理専門職員と会計ソフト会社及び会計士スタッフとの綿密なチームワークにより、適切な会計処理に努めた。なお、園児数が少ない今年度の厳しい財務状況のもとで、当初の教育目標の達成に努力した。</li> <li>財務状況に関してHPで適切に公開してきた。</li> </ul>